

吹矢3団体が親睦

丹波地域 集中し楽しく大会

全国で普及が進むユニバーサルスポーツ「スポーツウエルネス吹矢」の丹波地域3団体による年に1回の親睦大会が14日、川代体育館で行われた。各会員計22人が参加。新型コロナウイルス対策をしながら、集中して矢を吹き放っていた。参加したのは、住吉台コミュニティ消防センターで活動している「篠山さくら支部」、市民センターで活動している「ターツ篠山支部」、山南住民センター（丹波市）で活動している兵庫丹波支部の会員。例年6月頃に大会を開いていたが、



コロナ感染対策をしながら競技する参加者
=丹波篠山市大山下で

コロナの影響で延期していた。

会員それぞれの段級位により、的から6、8、

10メートル離れた位置から吹矢を放った。1ラウンド5

本を6ラウンド行い、合計得点を競った。県協会副会長で、兵庫丹波支部長の松永慎介さんによる

講評や指導もあった。

世話役で篠山さくら支部の橋本俊栄支部長は「コロナ対策をきっちり

と行うことで安心して楽しく競技することがで

きた」と話していた。

会場の扉を開放して換気したり、用具や手指を消毒したり、競技中以外はマスクを着用するなど、コロナ感染対策をとった。

競技に関心のある人は橋本支部長（090・9629・8066）。

大会上位は次の皆さん。

- ①藤原敏行（篠山さくら支部）
- ②久好健二（篠山さくら支部）
- ③竹林一三（ターツ篠山支部）